

風のたより

仙台青陵中等教育学校
第1学年だより 第4号
2022.5.17 発行

行事目白押し

ゴールデンウィークが終わってから、様々な行事が続いています。

10日(火)の進路講演会は「これからのエネルギーと電気自動車・自動運転」というテーマで電動モビリティ専門職大学の清水浩氏による講演がありました。コロナ対応ということで1年生は教室で配信を観ました。電気自動車、自動運転そして環境問題までのお話生徒たちは様々な感想を持ったようでした。ぜひ生徒から感想を聞いてみてください。



12日(木)の前期スポーツフェスティバルは、後期課程が楽天野球団の試合観戦に行くということで今年度初めて実施しました。短期間での準備にも関わらず、3年生や体育科の先生方により大変楽しく活動できました。また、これまで1年生はクラスTシャツを作ることがなかったですが、この機会にということとTシャツ作成が得意な先生が1学年にいらっしゃるということがあり、こちらも初めてクラスTシャツを作成して当日着用しました。縦割りクラスごとに色を合わせた結果、学年の枠を越えてクラスの気持ちがまとまっているようでした。



13日(金)の看護体験は宮城県看護協会の方が来校されての模擬授業体験でした。1年生からは8名の希望者が参加しました。講師として登壇した3名の現役看護師のうち2名が本校の卒業生(2期生と3期生)ということで、親しみやすかったのか質問もたくさん出て盛況な体験活動になりました。

14日(土)の土曜学習会の卒業生の話を聞く会には59名の生徒が参加して、メモをとるなどして大変熱心に聞き入っていました。東北大(工学, 経済) 宮教大(教育) 山形大(医学)の4名の先輩(1人はコロナの影響でリモート参加)が、前期時代に実際に使ったノートや参考書を持参して見せるなど、それぞれに自分の体験を通した話がありました。その中で、共通していたのが、授業を大切にすることや課題をきちんと提出することなどの学校の学習をまず大切にしていたということでした。また、順位などで他の人と比較をするのではなく自分が成長したのかをまず考えて欲しい、英語と数学をどちらかで良いから得意科目にして欲しい、一人暮らしをした時のためにお手伝いをしましょうなどという話もありました。本校の卒業生ということで、「仙台青陵では〇〇のようになっているから、△△のようになると良い」というようなアドバイスであったため、1年生には身近に感じることができたのではないのでしょうか。参加した皆さんは今後活かして欲しいものです。終了後には先輩を囲んで質問をしたり、ノートを見せて貰うなどしていました。まだまだ行事は続きます。体調管理をお願いします。



という話もありました。本校の卒業生ということで、「仙台青陵では〇〇のようになっているから、△△のようになると良い」というようなアドバイスであったため、1年生には身近に感じることができたのではないのでしょうか。参加した皆さんは今後活かして欲しいものです。終了後には先輩を囲んで質問をしたり、ノートを見せて貰うなどしていました。まだまだ行事は続きます。体調管理をお願いします。